

平成23年度 関西大学年史資料展示室企画展

目をはなすな

— 久井忠雄没後 —

20年記念展 —

手をはなせ

2011年4月1日(金) 開館

【開館時間】 午前10時～午後4時

【場 所】 関西大学千里山キャンパス 簡文館1階

【休館日】 日曜・祝日・大学が定めた休日

【入館料】 無 料



目をはなすな 手をはなせ

—久井忠雄没後20年記念展—

01 関西大学卒業後、内務官僚を経て理事長に

久井忠雄（1905–1991）は、大正9年（1920）に現在の関西大学第一高等学校の前身である関西甲種商業学校に入学し、関西大学法文学部在学中には高等文官試験の司法科試験と行政科試験のいずれにも合格した。大学卒業後は内務省官僚として活躍したが、昭和27年（1952）、学校法人関西大学の評議員に選出されると同時に専務理事に就任。平成3年（1991）に現役の理事長として他界するまで、関西大学の舵取りに全力を傾けた。



関西大学時代



警視庁警衛課長時代、乗馬姿の久井（右から2人目）

02 山上の垂訓

専務理事に就任しても、久井は中央政界への進出という夢を捨て切れなかった。専務理事に就任して間もないある日、元学長で、恩師でもある岩崎卯一に呼び出された。岩崎は図書館前の高台で久井に、卒業後20年も経っているにもかかわらず、施設などはほとんど増えていないと説き、関西大学の立て直しを久井に願いだした。この岩崎の「山上の垂訓」は、久井に本学の経営に専念させることを決意させるきっかけとなった。



昭和27年4月ごろの千里山キャンパス航空写真

03 海外主要大学視察旅行

久井は昭和32年（1957）6月から約2カ月間、ロックフェラー財団の招聘でアメリカへ大学視察旅行をした。大学行政に関するゼミを受講したのち、主要17大学を訪問した。この旅行では、知識だけではなく、貴重な人脈も得た。その多くは、帰国後、それぞれの大学の経営責任者や私学団体の要職につき、わが国の大学行政で大きな役割を担った。本学の工学部開設にあたり、久井は旅行の最中、そうした人々たちから多くのアドバイスを、学部創設の参考にしている。



アメリカ大学行政視察に出発する久井



視察団の一行

04 大学経営手腕

積極経営を推進した久井忠雄は、専務理事の時に法文学会などの施設充実を主とする第1次5カ年計画を完結させ、名神高速道路問題の解決などに取り組んだ。また理事長の時には将来を見越した工学部や社会学部の創設、高槻キャンパス校地の取得などを行い、関西大学発展の礎を築いた。

さらには、その行動力は私学助成制度の創設などにも注がれ、私立大学全体の発展にも寄与した。このように久井忠雄の手腕ぶりを今に伝える事跡の中で探せば、枚挙にいとまがない。



第1学舎小人数教室棟地頭祭で掘入れをする久井

05 創立100周年記念式典

昭和61年（1986）11月2日、全国各地や韓国、台湾からの校友とその家族など13,000人の参加者を迎え、澄みきった秋天のもと、創立100周年記念式典が挙行された。久井は式辞の中で関西大学100年の歩みを振り返り、この日を未来永劫への厳粛な接点と位置づけ、無限の可能性を秘めて大学の使命を果たす決意を披瀝した。久井の力強いことばは参列者の心を揺さぶった。



創立100周年記念式典で式辞を述べる久井

06 新しい世紀へ向けての将来構想

久井は創立100周年を迎える前から、本学が新しい世紀を迎えたあとの将来構想を練っていた。その構想は、昭和58年(1983)11月に具体的な形となって現れた。千里山、天六に次ぐ第3の校地として、高槻市が「北摂学術研究都市」構想を推進している地域の1画(44.83ヘクタール)を買収すると発表したのである。その後、昭和63年(1988)4月30日に新校地の造成工事起工式が挙行政され、平成3年(1991)3月25日に竣工式が行われた。久井の時代を先取りする大学経営手腕は、高槻校地の取得でも遺憾なく発揮された。



高槻校地造成工事竣工式で挨拶する久井

07 聴衆を魅了するスピーチ

久井は、教育後援会総会の挨拶などで、たくさんの父母を前に、親子の対話が必要なことや、家庭教育の大切さを「目をはなすな 手をはなせ」「家庭こそ礎」といったキャッチフレーズで端的に表わして説いた。流行歌の歌詞やテレビのコマーシャル、子どもたちが作った川柳・俳句などを巧みに盛り込み、ユーモアあふれる口調で聴衆を魅了した。久井の話が聞きたくて毎年総会に参加する父母も少なくなかった。



教育後援会総会で挨拶を述べる久井



全国からの参加者で体育館が満員になった教育後援会総会

08 かまぼこ定期便

かまぼこ定期便とは、毎年暮れに全職員へプレゼントされたかまぼこに由来する。かまぼこにつけられた「挨拶状」は、久井が年に一回、大学の職員に送るお礼のメッセージであったが、同時に、亡き両親に対して感謝と供養の想いを込めて綴った追慕の礼状でもあった。

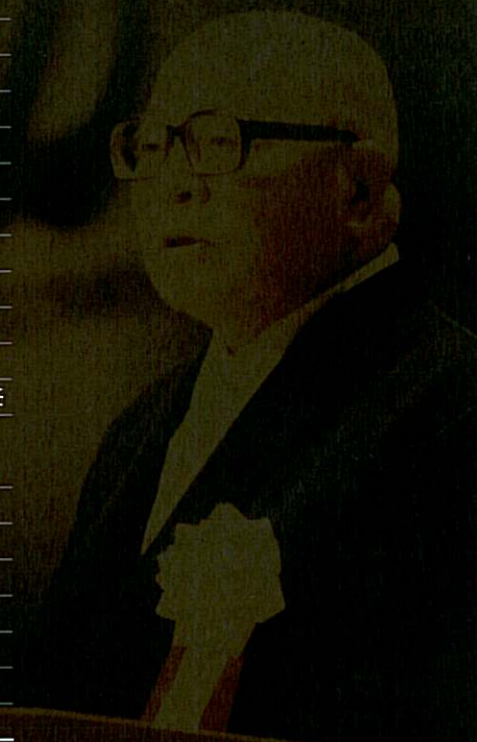
かまぼこの配付は、久井が専務理事に就任した昭和27年(1952)から始まったが、昭和42年(1967)から挨拶状がつくようになり、久井が亡くなった平成3年(1991)まで続いた。最後の年はご令室の名前で配られている。

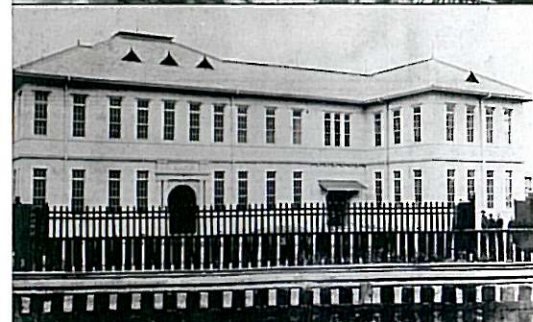


感謝の気持ちがこもった挨拶状とかまぼこ

久井忠雄 略年譜

年次(西暦)	事項
明治38年(1905)12月21日	大阪府泉南郡岸和田浜町に生れる。
大正9年(1920)4月1日	関西甲種商業学校に入学
大正14年(1925)4月1日	関西大学予科に進学、相撲部に入部
昭和3年(1928)4月1日	関西大学法文学部法律学部に入学
昭和4年(1929)12月21日	在学中に高等試験司法科試験合格
昭和5年(1930)10月8日	在学中に高等試験行政科試験合格
昭和6年(1931)3月31日	関西大学法文学部卒業
昭和6年(1931)4月21日	内務省採用、社会局健康保険視察事務取扱
昭和6年(1931)6月	岡田コトと結婚
昭和20年(1945)8月28日	新潟県警察部長に就任
昭和20年(1945)10月4日	連合軍総司令部(GHQ)より職務罷免
昭和21年(1946)4月24日	内務省退官
昭和21年(1946)11月1日	弁護士登録
昭和27年(1952)10月1日	学校法人関西大学評議員に選出されると同時に専務理事に就任
昭和32年(1957)6月21日	社団法人日本私立大学連盟のメンバーとしてアメリカ大学行政を視察(～8月帰国)
昭和38年(1963)6月17日	学校法人関西大学理事長に就任
昭和50年(1975)2月28日	社団法人日本私立大学連盟常務理事に就任
昭和53年(1978)7月1日	日本私学振興財団理事に就任
昭和61年(1986)11月3日	勲二等旭日重光章受賞
平成3年(1991)8月24日	急性心不全のため逝去
平成3年(1991)10月10日	学校法人関西大学葬
平成5年(1993)8月24日	理事長在任のまま、久井忠雄胸像除幕式挙行政





関西大学年史編纂室

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
 関西大学千里山キャンパス 簡文館内

TEL : 06-6368-1062 (直通)

URL : <http://www.kansai-u.ac.jp/nenshi/>

■ ACCESS ■

阪急千里線「関大前」駅下車徒歩10分

※お車でのご来場はご遠慮ください。



上から

- 生家付近
- 幼少のころ (祖母と姉)
- 福島学舎
- 関西甲種商業学校時代
- 相撲部時代 (後列左から2人目)
- 群馬県警察時代 (左から5人目)
- 大学予科校舎